

日時：令和4年6月3日（金）
13:30～16:00

会場：能代文化会館中ホール

13:00開場 入場無料



◆講演① 13:30～14:40

「カーボンニュートラル時代の森林づくりと木づかい」

講師：宮澤 俊輔（林野庁東北森林管理局長）

◆講演② 14:50～16:00

「みらいの街の姿をみんなで考える～中心市街地での活動報告から～」

講師：小杉 栄次郎（秋田公立美術大学教授）



能代俯瞰(撮影 船山哲郎)

(司会 秋田県立大学木材高度加工研究所 高田 克彦 所長)

主催：市民おもしろ塾 能代木材産業連合会

後援：能代市 秋田県山本地域振興局 秋田県立大学木材高度加工研究所 秋田県木材加工推進機構
能代商工会議所 米代西部森林管理署 白神森林組合 北羽新報社 秋田魁新報社

問合せ先TEL：市民おもしろ塾（080-4131-3634）能代木材産業連合会（0185-52-6407）

森林整備・木材利用と木都能代のこれからを考える！
行政中枢、都市設計第一線者と能代の対話

宮澤 俊輔先生（林野庁東北森林管理局長）

略歴

昭和 63 年 東京大学農学部林産学科卒業
同年農林水産省入省。林野庁林産課係長、木材課課長補佐、環境省環境教育推進室長、林野庁木材貿易対策室長、木材産業課長、(独)農林漁業信用基金総括理事、林野庁中部森林管理局長等を経て令和 3 年 10 月より現職



* 今回講演『カーボンニュートラル時代の森林づくりと木づかい』

森林整備(森林づくり)と木材利用(木づかい)は、時代ごとに目的や重点を変えながらも、常に林業施策の中心的な課題となっています。最近では、カーボンニュートラルというテーマにどのように向き合うのが重要となっており、単に林業・木材産業関係者だけの内輪の問題ではなく、経済界や生活者など様々な立場の方々にとっても、かかわり方を考えていただくべきものといえます。

今回の講演では、森林づくりと木づかいの基本を押さえながら、これからどうしていくことが望まれるのか、皆さんと考えたいと思います。

小杉 栄次郎 先生（建築家、秋田公立美術大学教授、NPO 法人 team Timberize 理事）

略歴

1968 年 東京都生まれ。
1992 年 東京大学工学部建築学科卒業。
1992 年～ 磯崎新アトリエ（～2001 年）。
2002 年～ KUS 一級建築士事務所を設立（～2015 年）。
2011 年～ NPO 法人 team Timberize を設立、副理事長。（2021 年より理事）
2013 年～ 秋田公立美術大学美術学部美術学科景観デザイン専攻准教授（～2017 年）。
2017 年～ 一級建築士事務所コードアーキテクトを設立、共同代表。
2018 年～ 秋田公立美術大学美術学部美術学科景観デザイン専攻教授。



（撮影 草薙裕）

建築・都市の設計理論と実践を専門とし、木質・木造建築の新たな可能性を追求している。主な建築作品に『JR 秋田駅待合ラウンジ』（2017）／WoodDesign 賞 2017 最優秀賞（農林水産大臣賞）、『下馬の集合住宅』（2013）／第 41 回東京建築賞(共同住宅部門)奨励賞（2015 年）他、など。

主な著書に『都市木造のヴィジョンと技術』（共著、オーム社、2012 年）など。

* 今回講演『みらいの街の姿をみんなで考える～中心市街地での活動報告から～』について

豊富な木材資源と高い生産加工技術によって栄えた木都能代。この街の未来をどのように見据えるのか、どのように作っていくのかを決めるのは市民の皆さん自身です。

令和元年から始まった能代市島町の空き店舗を活用した「能代街なか資源再活用プログラム研究」や、「能代北高跡地利活用可能性検討業務」など、中心市街地で現在進行中の街づくりプロジェクトの現状報告をします。能代のまちの未来を、より具体的に描いてみましょう。その先にはきっと「木都」の新しい姿が立ち現れます。



スタートブック（撮影 伊藤靖史）